

参考文献

- 1) (財) 交通事故総合分析センター「交通統計（平成 13 年度版）」
- 2) JIS Z 9111-1988；「道路照明基準」
- 3) (社) 照明学会；「歩行者のための屋外公共照明基準」、JIEC-006、1994
- 4) 東京都建設局；「道路工事設計基準」、平成 11 年
- 5) イギリス；「Code of Practice for Lighting for Subsidairy roads and Associated Pedestrian Areas」、BS5489 PART3、1992
- 6) ドイツ、DIN5044 Teil1、1981
- 7) アメリカ；「Roadway Lighting」、ANSI/IESNA RP-8-00、2000
- 8) CIE；“Recommendations for the lighting of roads for motor and pedestrian traffic”、
Pub. No. 115、1995
- 9) CIE；“Guide to the lighting of the urban areas”、Pub. No. 136、2000
- 10) (社) 照明学会関西支部；「街路照明の適正化に関する調査分析（その 2）」、昭和 62 年
- 11) (社) 照明学会；「街路・防犯照明における顔の見え方と照明レベル」
照明学会誌 Vol73. 66 P303～307
- 12) (社) 日本防犯設備協会；「防犯照明ガイド」、平成 8 年
- 13) (社) 照明学会；「高齢者の視覚特性を考慮した照明視環境の基礎検討」、JIER-061、1999
p110 「第 6 章 視覚特性の年齢効果を考慮した住宅における適正照度の検討」
- 14) (財) 高速道路調査会；「高齢運転者の視覚機能と標識の認知」、
高速道路と自動車 Vol44. 11p39
- 15) JIS Z 9116；「トンネル照明基準」
- 16) 建設省九州地方建設局福岡工事事務所、(社) 全国道路標識・標示業協会；
「道路技術 5 箇年計画 道路標識表示装置の高度化に関する検討報告書」、平成 10 年
- 17) 国土交通省道路局、(財) 国土技術研究センター；「道路の移動円滑化整備ガイドライン」、
平成 14 年

